

福祉科3年 作業療法・言語聴覚療法講習会

令和2年7月21日(火) 1限～4限に、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の先生方を講師としてお招きし、作業療法・言語聴覚療法講習会を行いました。

作業療法に関する基礎的理解



レントゲン写真を用いて、手の骨や関節について学習しました。

術後評価
関節可動域訓練
手関節掌屈(自動) 20°
背屈(自動) 30°
捻転(自動) 5°
尺屈(自動) 10°
握力: 骨密度が確認できないため、未実施。
疼痛: VAS 7
痛み

手関節の関節可動域が低下すると、日頃の手の使用が困難になる。
サンビレッジ国際医療福祉専門学校

骨の模型を用いて、腕が動いているときに連動した骨の様子を確認し合いました。

③肩関節と肘関節の動きで書字の訓練実施

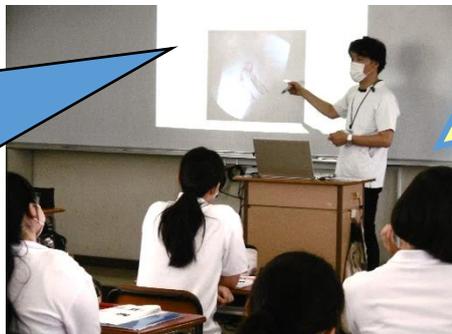
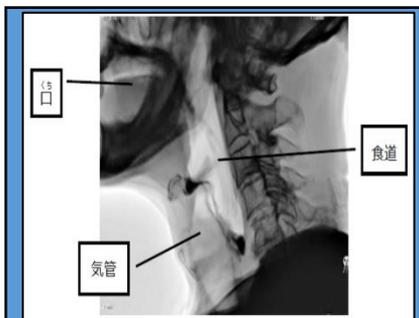
①弱い力でも書けるように筆ペンを選択

②脊髄損傷の方用の手袋に、糊用の金具を取り付けてペンを挟めるように作成

サンビレッジ国際医療福祉専門学校

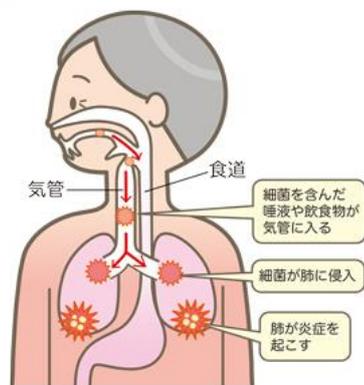


言語聴覚療法に関する基礎的理解



飲み込みの瞬間のレントゲン映像により、嚥下のしくみや誤嚥の様子について深く勉強することができました。

不自然な姿勢での飲みにくさ(上を向いてお茶を飲む)を体験しました。中にはうまく飲み込まず、むせてしまう人もいました。



《生徒の感想》

作業療法や言語療法について、実際の症例を用いながら教えていただいたためイメージすることができました。利用者の方を支えるために、リハビリの視点や知識を理解しておくことが必要だと感じました。